

# 高円宮杯第73回全日本中学校英語弁論大会 中央大会における感染症対策

## 基本的な考え方及び開催方式の判断

- (1) 本大会では、中央大会出場者数を従来の151名から57名に減らすことで規模を縮小し、オフラインでの開催を予定する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、ビデオ審査とする可能性がある。なお開催方式の最終的な判断は、開催日の約1ヶ月前に行う。
- (3) 東京都内又は日本国内における緊急事態宣言等の発出の有無を重要な判断材料とし、開催方式を総合的に判断する。
- (4) 本大会関係者全員に日常生活における体調管理の徹底を呼びかけた上で、「標準予防策」「身体的距離の確保」「密閉、密集、密接を避ける行動」を念頭に置いた感染症対策を行う。
- (5) 本大会に関する最新情報は、高円宮杯HP(<https://jnsafund.org>)にて随時公開する。

## I 事前の対策

1. 接触確認アプリ(COCoA)インストールの推奨
2. 体温管理活用アプリ「テレサ」での体調報告\*
3. 以下の事項に抵触した場合は自宅待機とする
  - イ)「平熱と比較して高い発熱、極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐」のうちどれかひとつ又は複数の症状が見受けられる場合。
  - ロ)自身が新型コロナウイルスに感染した、又は感染が疑われる場合。
  - ハ)新型コロナウイルス感染症に感染した者の、濃厚接触者と認められた場合。
  - ニ)家族又は同居している者が、新型コロナウイルス陽性者と判明した場合。
  - ホ)参加者が通う学校にてクラスターが発生した場合。
  - ヘ)過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察を必要とされている国又は地域への訪問歴及び該当居住者との濃厚接触が認められる場合。
 該当者はいかなる場合も主催者に連絡を取ること。主催者は専門家の意見を参考にしながら該当者に判断を下す。また、必要に応じて所轄の保健所の意見を仰ぐ。

## II 当日の対策

マスク着用の原則義務化(不織布マスク推奨)、検温及び手指の消毒、飲食の機会の最小化、共用物品(ドアノブ等)の適宜消毒を行う。また、室内換気、受付時間の分散、ホール内及び各種控室の人数制限を実施する。

## III 事後の対策

接触した日から2週間以内に発症する可能性があるため、万が一感染が疑われる症状がみられた場合には、速やかに所轄の保健所に連絡及び相談の上、本大会事務局まで報告するよう参加者に伝える。また、運営関係者の感染が疑われる場合には、速やかに所轄の保健所へ連絡した上で然るべき対応を講ずる。

以上

\*「テレサ」とはスマートフォンを用いて体温を入力することができるサービスである。管理者(主催者)は登録者が入力した体温や体調を随時知ることができ、登録者の体調不良が見受けられた場合には管理者に通知が届く。詳細は公式HP(<https://www.albirex-rc.com/4905/>)を参照。

<監修>

五十嵐労働衛生コンサルティング合同会社  
医師・労働衛生コンサルタント:五十嵐 侑

<お問い合わせ>

東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞東京本社内  
日本学生協会(JNSA)基金/高円宮杯事務局  
理事長 長谷川 敏子/企画部長 白岩 詩佑介  
電話 03-3217-8393 FAX 03-3217-8358